

東京電機大学理工学部知能機械工学科 Formula SAE Project

2007 Formula SAE West 結果報告

総合成績 13位 (エントリー80チーム中)

フューエルエコノミー 3位
(燃費性能)

コストイベント 4位

スキッドパッド 8位
(旋回性能)

エンデュランス 15位
(耐久性能)

アクセラレーション 32位
(加速性能)

オートクロス 15位
(総合運動性能)

デザインイベント 28位
(設計審査)

プレゼンテーション 38位

当プロジェクトチームは6月13日から16日にアメリカ カリフォルニアスピードウェイで行われたFormula SAE West (アメリカ西海岸大会) に参戦しました。世界中から80チームの大学がエントリーする中、当プロジェクトは総合13位を獲得しました。

連日30度を越え、他の多くのチームがリタイアする中、当チームはエンデュランス(耐久性能)イベントで見事完走を果たし、15位。スキッドパッド(旋回性能)イベントでは、当プロジェクトが誇る旋回性能の高さを証明し、8位。今まで鬼門であった静的イベントでも、ディスカッション資料を入念に用意するという新手法で挑んだコストイベントで4位を獲得することができました。

今回のこの総合13位という結果は、当チームにとって決して満足できるものではありません。今回の大会で明らかになった、デザインイベント、プレゼンテーションの準備不足や、ドライビングスキル不足を改善し、当チームが次に挑む9月の日本大会、続く12月のオーストラリア大会では優勝を実現するべく全力を尽くして挑みます。

私たちが無事に遠征を終え、多くの成果を得られたのは、皆様のご声援があったからに他なりません。これからも、よろしくお願い致します。

マシンを整備中のメンバー。全員が一丸となって素早い整備を行い、時間を有効に使うことも勝敗に多くかかわってきます。



エンデュランスでは見事完走を果たす。平口、石山が乗車。

コストイベントの様子。当チーム史上、海外大会最高順位の4位を獲得。次回は更に車体コストを削減し優勝を目指します。



カリフォルニアスピードウェイオーバルコース内にて。